

春日部市複合型子育て支援施設整備事業

基本設計（案）概要版



外観イメージ

(外壁の色については、周辺環境と調和の図れる色を選定する予定です)

1. 案内図



2. 業務工程表

	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度)				2019年度 (H31年度)				2020年度 (H32年度)			2021年度 (H33年度)	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
設計		基本設計		実施設計		計画通知等 届出							新施設完成		
建設工事						発注準備	建設工事						新施設 開所		
地盤変動 影響調査						事前調査									事後調査
その他	●地域住民への事前説明		●住民説明会		●住民説明会		●市民意見提出手続き						開所 準備		

3. 施設概要

- (1) 施設位置 春日部市粕壁字浜川戸5435番1
- (2) 事業区域 約3,000㎡
- (3) 建物面積 約2,300㎡（延べ床面積）
- (4) 構造・階数 鉄筋コンクリート造・地上2階建て
- (5) 用途 児童福祉施設（保育所、児童発達支援センター）

4. 建物概要表

工事名		春日部市複合型子育て支援施設新築工事
敷地の位置	地名・地番	埼玉県春日部市粕壁字浜川戸5435番1
	地区地域	第一種住居地域
	防火指定	指定無し、法第22条区域
	高度地区	-
	その他の地域	八木崎駅周辺地区地区計画、埋蔵文化財包蔵地
	法定建ぺい率	60%
	法定容積率	200%
	日影規制	4時間/2.5時間(測定面4m)
	前面道路	幅員(最大)8.0 m
主要用途		児童福祉施設等(保育所・児童発達支援センター)
工事種別		新築

5. 主要用途

- (1) 保育所:定員120人、開所時間7:00~19:00(月~土曜日)
(病児保育事業(定員3人)を行います)
- (2) 児童発達支援センター:定員60人、開所時間8:30~17:00(月~金曜日)
(療育支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援を行います)

6. 建物計画の特色

- 多様化する子育てニーズに対応した複合型用途整備
 - ・ 春日部市内公立保育所として、新たに病児保育事業を実施します。
 - ・ 児童発達支援センターとして、通所定員の拡充および新たに専門的な療育、相談支援を充実する施設を整備します。
 - ・ 幼少期から障害の有無に関わらず、ともにノーマライゼーションを学び育つことのできる環境整備を目指します。
- 利用者に配慮した安全で安心な施設整備
 - ・ 自然な交流を促すため、エントランスを共有し、施設中央の中庭を介して施設全体がゆるやかに繋がる空間構成としています。
 - ・ 共有エリアと各エリア(保育所、児童発達支援センター)を明確に分離し、子どもが安心して生活できるゾーニングを計画しています。
 - ・ 指はさみや鋭角部など子どもにとっての危険を徹底的に排除した細部計画をしています。
 - ・ 発育年齢や障害の特性に合わせた様々な高さ設定の工夫(手洗い等の設備や家具、段差など)や、わかりやすい案内表示などにより子どもの成長を促すユニバーサルデザインにしています。
- 地域に根差し、環境に配慮した施設を目指す施設整備
 - ・ 地域住民の方々と交流できる場として、花絵花壇を中心としたオープンスペースを確保します。
 - ・ 周辺環境に調和した外観デザインにしています。
 - ・ 自然エネルギーを活用する設備計画にしています。

7. 配置計画の特色

● 周辺環境との調和

- ・ 駐車場を敷地北西側に配置し、朝夕送迎時の近隣への影響を極力抑えた計画にしています。
- ・ 近隣への日影の影響を考慮した配置計画です。
- ・ 歩行者交通量の多い駅に近い敷地であることから、交差点での見通しを確保し、建物による圧迫感を軽減するため、所庭やオープンスペースを東側に設置します。
- ・ 地域交流イベントを想定し、オープンスペースと所庭、ホールとの連続性を計画しています。



- ・ 花絵花壇を中心とした交流の場を確保
- ・ 交差点の見通しを確保
- ・ 所庭と一体利用可能

オープンスペース

地域との交流時の
一体利用

見通し確保
圧迫感の軽減

▶ 車両主要出入口

▶ 建物エントランス

配置ゾーニング図

8. 外観デザイン

● 「子ども向けの施設」らしさを演出

- ・ 駅に近接する所庭側の外観を施設の顔と位置付け、ホール、2階テラスと所庭の連続性を重視した計画にしています。
- ・ 所庭に面する壁面には、子育て支援施設らしい楽しさを表現したデザインにしています。
- ・ 北側は、送迎バスの車寄せを中心に、エントランスとしてのわかりやすさを大事にした計画です。
- ・ 施設全体は明るい色彩を基本とし、温かみのある色彩計画としています。



外観イメージ図

(外壁の色については、周辺環境と調和の図れる色を選定する予定です。)